ムーンショット型研究開発事業

# 研究開発プロジェクト提案書（記入要領）

【様式1】　達成を目指すムーンショット目標

【様式2】　研究開発プロジェクト概要

【様式3】　ムーンショット目標達成に至るまでのシナリオ

【様式4】　研究開発プロジェクト提案

【様式5】　研究開発プロジェクトの推進計画及び予算計画

【様式6】　提案者のマネジメント能力

【様式7】　作り込みに関するPMの実施内容

【様式8】　利益相反に関する情報

【様式9】　研究費の応募・受入等の状況・エフォート

【様式10】　人権の保護および法令等の遵守への対応

【様式11】 「推薦状」

【様式別紙】　「パフォーマー候補情報シート」

*【プロジェクト提案書記入にあたっての注意事項】*

* 各様式のページ数は、各様式に指定されたページを超過しないでください。
* 本文のフォントサイズは【10ポイント以上】を厳守してください。
* 【様式3】～【様式7】は、必要に応じ、図表を用いても構いません。
* **青字の記入要領は、提出時に削除してください。**
* **本紙（記入要領表紙）は、提出時には削除ください。**
* ファイルの容量は3MB以内を目途に作成ください。
* 締切後の書類の修正は、一切認めません。

上記の注意事項が守れていない提案者は、原則として、提案書の不受理、ないし、不採択とします。

ムーンショット型研究開発事業　研究開発プロジェクト提案書

**【様式1】達成を目指すムーンショット目標**

|  |  |
| --- | --- |
| 本提案で実現を目指すMS目標 | |
| 本提案で実現を目指すMS目標を１つご選択ください。  ムーンショット目標１「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された　　　社会を実現」  ムーンショット目標２「2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を　実現」  ムーンショット目標３「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習･行動し人と　１共生するロボットを実現」  ムーンショット目標６「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」 | |
|  | |
| 目標毎の確認事項  *上記で選択した目標についてご選択ください。* | |
| ムーンショット　目標1 | 以下のターゲットから提案内容に該当するものをご選択ください。（複数選択可）  サイバネティック・アバター基盤  サイバネティック・アバター生活 |
| ムーンショット　目標２ | 以下のアプローチが提案内容に含まれることをご確認ください。（提案にはいずれも必須）  分子細胞・生化学的・生理学的アプローチ  AI等の数理的データ解析技術と数理モデリングによるアプローチ |
| ムーンショット　目標3 | 以下の研究開発グループから提案内容に該当する主なものをご選択ください。（複数選択可）  人が違和感を持たない、人と同等以上な身体能力をもち、人生に寄り添って一緒に成長するAIロボット  自然科学の領域において、自ら思考・行動し、自動的に科学的原理・解法の発見を目指すAIロボットシステム  人が活動することが難しい環境で、自律的に判断し、自ら活動し成長するAIロボット |
| ムーンショット　目標6 | 以下のカテゴリから提案内容に該当するものをご選択ください。（いずれか一つ）  ハードウェア  通信ネットワーク  理論・ソフトウェア |

**【様式2】研究開発プロジェクト概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提案する研究開発プロジェクト名（20文字程度） | | |
| *提案する研究開発プロジェクト名を記入してください。* | | |
| 提案する研究開発プロジェクトの概要（400字以内） | | |
| *提案する研究開発プロジェクトの概要をご記載ください。（句読点を含め、****400 字以内****）* | | |
| キーワード | | |
| *提案する研究開発プロジェクトの特徴を表すキーワードを挙げてください（5つ以内）* | | |
| 希望する研究開発費（PM採択から５年目（2020年から2024年）までの合計） | | |
| *●●●*百万円　　*※ 様式5の金額と一致させてください* | | |
| 提案者（PM）に関する情報 | | |
| （フリガナ）  氏名： | | |
| 国籍／性別： | | 生年月日（西暦）： |
| 所属機関・役職： | | |
| 住所又は居所： | | |
| 提案者の学歴及び職歴 | | |
| ・学歴（大学卒業以降）  *記入例）*  *○○◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業*  *○○◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了*  *○○◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了*  *○○◯◯年 博士（◯◯学）（◯◯大学） 取得*  ・職歴  *記入例）*  *○○◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯について開発）*  *○○◯◯年～◯◯年 ◯◯大学特任准教授（◯◯◯◯に関する研究に従事）*  *○○◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯事業担当）* | | |
| 研究開発プロジェクトのマネジメントへのエフォート | | |
| 全仕事時間に占める、提案する研究開発プロジェクトのマネジメント活動時間の割合　　　*●●*％  *※ PMがパフォーマーとしても参画する場合の研究開発活動時間の割合は、様式別紙にご記載ください。* | | |
| 代表機関及びその調整状況 | | |
| *公募要領4.1.2の通り、提案者がPMとして採択された場合、PMの雇用主の機関に、「代表機関」として、PM活動を支援していただきます。代表機関候補の名称、及び代表機関受任の合意状況についてご記入ください。未調整の場合は、採択後の作り込み終了時までに、代表機関の合意を得ていただきます。*  代表機関候補名：*●●大学 大学院●●研究科（あるいは、○○株式会社△△事業本部□□事業部）*  代表機関候補との合意状況：合意済　調整中　未調整*（いずれか一つ選択してください）* | | |
| 主要なパフォーマー候補に関する情報 | | |
| *パフォーマー（PMの指示により研究開発プロジェクトにおける研究開発の分担内容を実施する者）候補のうち、提案する研究開発プロジェクトの実施に必要不可欠な者について、その氏名と所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）をご記入ください。（詳細は「様式別紙：パフォーマー候補情報シート」にご記入ください）。未定の場合は「未定」としていただいてかまいません。*  *※目標２に関しては「分子細胞・生化学的・生理学的アプローチ」及び「AI等の数理的データ解析技術と数理モデリングによるアプローチ」それぞれのパフォーマーを各1名以上、ご記載ください。なお、「分担内容」には、各パフォーマー候補がどちらのアプローチを主に担当するのか分かるようにご記載ください。*  *（記入例）*  *パフォーマー候補１：氏名、所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）*  *パフォーマー候補２：氏名、所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）*  *パフォーマー候補３：氏名、所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）* | | |
| 提案者の研究者番号 | *府省共通研究開発管理システム(e-Rad〕)より付与された 8桁の研究者番号を記載してください。* | |
| 提案者のresearchmap等の情報 | *URL：*  *著者ID：*  *※提案者の情報を収載しているホームページ（研究室ホームページ、researchmapページ等）があればURLを、またORCID IDやWeb of Science のResearcher ID、SCOPUSの著者IDをご存知の方は、当該IDをご記載ください。* | |

***※様式3は、4ページ以内でご説明ください。***

**【様式３】ムーンショット目標達成に至るまでのシナリオ**

**１．本提案による、現時点から2050年のMS目標達成に至るまでのシナリオ**

本提案による、現時点から2050年のMS目標達成に至るまでのシナリオについて、適宜目標年次を挙げながらご説明ください。科学技術分野での取り組みに加え、普及・社会実装等に向けた社会分野での取り組みも含めてご説明ください。

（１）MS目標達成に至るまでのシナリオ（2030年から2050年まで）

（２）MS目標達成に至るまでのシナリオ（現時点から2030年まで）

*※ 現時点から2030年まで、及び2030年から2050年までに分けてご記載ください。*

*※ 現時点から2030年までは、【様式4】「5.提案する研究開発プロジェクトの内容」を、要約したものとしてください。*

*※ 選択したMS目標及び構想に合致する提案であることについても言及ください。*

*※ MS目標が達成した場合の産業や社会へ与えるインパクト、及び達成が想定される時期についても言及ください。*

**２．2050年のMS目標達成に至るまでに克服すべき主要な課題**

MS目標達成に向けて解決が必要と考える、克服すべき主要な課題を挙げてください。

克服すべき課題について、科学技術分野、及び、社会受容性、規制、社会的経済性等といった、実現や普及の障壁となり得る社会分野、それぞれについて、主要なものを挙げてください。

*（記入例）*

*（２－１）科学技術分野での課題*

*課題１）○○技術：○○で○○が可能な○○技術の開発*

*<対処方針>○○分野の○○を本○○技術に応用することで大幅な精度向上を見込む*

*課題２）○○システム：○○において○○サービスを行う○○システムの構築*

*<対処方針>○○サービスが実証できると○○業界企業との連携が加速し○○が進捗*

*課題３）○○の効率化：○○の効率が現在△△％であり、これを□□％以上とすることが必要*

*<対処方針>○○に集中的に取り組みデータを蓄積しAIを活用し○○に展開することで大幅な効率向上を目指す*

*（２－２）社会分野での課題*

*課題１）○○の許認可制度：□□の許認可制度の国際的な規定が未確定であり、国際合意の枠組み構築が必要*

*課題２）△△地域の住民の理解取得：○○を実施した場合、△△地域を利用するため周辺住民への説明と理解取得が必要*

**３．MS目標達成に関連した従来の取り組み及びその問題点**

「克服すベき主要な課題」（前項２．）を解決するために、国内外で行われている取り組みを複数挙げ、それらの取り組みでは「克服すべき課題」の解決は難しく、2050年のMS目標の達成が困難であると考える理由をご説明ください。

*※ 科学技術分野の課題への対策のみでなく、社会分野の課題への対策も含めてご説明ください。*

*※ 提案者の専門分野・経験業種に限らない説明をお願いします。*

*※ 必要があれば、根拠となる文献等も示してください。*

*※ 提案者以外の取り組みについても必ず言及してください。*

*※ 以下を例として箇条書きで評価者がわかりやすいようにご説明ください。*

*(記入例)*

*1)取り組み例１：○○の研究開発と社会実装*

*概要：○○の主要技術である△△と□□の性能を向上させ、○○を世界の○○％普及させる。*

|  |  |
| --- | --- |
| *克服すべき主要な課題* | *従来の取り組みの問題点*  *（2050年までの実現が困難と考える理由）* |
| *●科学技術課題*  *・○○効率を△△から□□へ向上*  *・○○性を□□から△△へ向上* | *・○○の性能向上に対し、△△の開発が必要であり、開発に○○年○○兆円を要するといわれている。*  *・○○性の向上は原理的に困難（Abcd,20xxによる。）* |
| *●社会課題*  *・一般消費者が受け入れ可能な○○の設定*  *・△△制度への適合* | *・世界で受け入れ可能な○○は□□程度との試算に対し、文献（Efgh,20XX）によると、この取り組みでは2050年頃でも、○○は△△程度となり、市場で受け入れられない。*  *・△△制度への適合には上記の○○課題解決が必要。また、制度の改訂には国際団体△△が反対しており説得困難* |

*参考文献）*

*Abcd,E., XXXXXXXXX,Journal of XX, pp.x-x, 20XX*

*Efgh,A., XXXXXXXXX,Journal of XX, pp.x-x, 20XX*

*2)取り組み例2：○○技術の普及*

*（記入例）*

|  |  |
| --- | --- |
| *克服すべき主要な課題* | *従来の取り組みの問題点*  *（2050年までの実現が困難と考える理由）* |
| *●科学技術課題*  *・・・・*  *・・・・* | *・・・・*  *・・・・* |
| *●社会課題*  *・・*  *・・・・* | *・・・・*  *・・・・* |

**４．本提案による「克服すべき主要な課題」解決の方策（考え方）**

　本提案による、「克服すベき主要な課題」（本様式２．項）を解決する方策（考え方）をご説明ください。

*※ 科学的な裏付け等に基づいた、解決の仮説に言及してご説明ください。*

*※ 必要があれば、根拠となる文献等も示してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| *克服すべき主要な課題* | *解決する方策（考え方）* |
| *●科学技術課題*  *・・・・*  *・・・・* | *・・・・*  *・・・・* |
| *●社会課題*  *・・*  *・・・・* | *・・・・*  *・・・・* |

*参考文献）*

*Abcd,E., XXXXXXXXX,Journal of XX, pp.x-x, 20XX*

*Efgh,A., XXXXXXXXX,Journal of XX, pp.x-x, 20XX*

**５．提案者のシナリオの妥当性**

本様式3.項で挙げた従来の取り組みにくらべ、提案者のシナリオが2050年のMS目標達成にふさわしいと考える理由をご説明ください。

*※ 特に、従来の取り組みでは2050年までのMS目標の達成が困難と考えるにも関わらず、なぜ本シナリオで実施すべきと考えるのか、従来の取り組みと提案者のシナリオを比較しながら、その妥当性をご説明ください。*

*※ 科学技術分野、社会分野の両面からその理由に言及してください。*

***※ 様式4は、5ページ以内でご説明ください。***

**【様式4】研究開発プロジェクト提案**

提案者がPMとして採択された場合、「シナリオ」に基づいて検証可能な定量的目標である「PM採択時点から3年目、5年目および10年目のマイルストーン」を設定し、それを達成すべく、「研究開発プロジェクト」をマネジメントして頂きます。

提案者が考える「マイルストーン」について、以下でご説明ください。

**１．PM採択時点から10年目に達成を目指すマイルストーンとその設定理由**

**(1) PM採択時点から10年目に達成を目指すマイルストーン**

*2050年のMS目標達成からバックキャストし、「シナリオ」に基づき、PM採択時点から10年目に達成を目指す、検証可能な定量的目標であるマイルストーン（複数可）を挙げてください。*

**(2)当該マイルストーンの設定理由**

*マイルストーンの設定理由を「シナリオ」における位置付け・必然性がわかるようにご説明ください。*

**２．PM採択時点から５年目に達成を目指すマイルストーンとその設定理由**

**(1) PM採択時点から５年目に達成を目指すマイルストーン**

*2050年のMS目標達成からバックキャストし、「シナリオ」に基づき、PM採択時点から5年目に達成を目指す検証可能な定量的目標であるマイルストーン（複数可）を挙げてください。*

**(2)当該マイルストーンの設定理由**

*マイルストーンの設定理由を「シナリオ」における位置付け・必然性がわかるようにご説明ください。*

**３．PM採択時点から3年目に達成を目指すマイルストーンとその設定理由**

**(1) PM採択時点から3年目に達成を目指すマイルストーン**

*2050年のMS目標達成からバックキャストし、「シナリオ」に基づき、PM採択時点から3年目に達成を目指す検証可能な定量的目標であるマイルストーン（複数可）を挙げてください。*

**(2)当該マイルストーンの設定理由**

*マイルストーンの設定理由を「シナリオ」における位置付け・必然性がわかるようにご説明ください。*

**４． 研究開発プロジェクトで克服すべき課題**

「PM採択時点から３年目のマイルストーン」、「PM採択時点から5年目のマイルストーン」、及び、「PM採択時点から10年目のマイルストーン」を達成する上で、本研究開発プロジェクトで克服すべき重要な課題を５つ（あるいはそれ以上）挙げ、定量的な表現も踏まえて、その内容を具体的にご説明ください。

*なぜ本研究開発プロジェクトで当該課題を取り上げるのか、「シナリオ」における位置付け・重要性について言及してください。*

**５.　提案する研究開発プロジェクトの内容**

「PM採択時点から３年目のマイルストーン」、「PM採択時点から5年目のマイルストーン」、及び、「PM採択時点から10年目のマイルストーン」を達成するまでのシナリオを詳しくご説明ください*。*

*前項（上記の4．）で挙げた課題を解決するため科学的な裏付けに基づいた解決方策を示した上で、どのようにマイルストーンを達成しようとしているのか、具体的かつ簡潔明瞭にご説明ください。*

*なお、提案する研究開発プロジェクトが、大胆な発想に基づいた独創性を有し、挑戦的であること、及び、克服すべき課題の解決が困難な場合のリスクヘッジが十分に考慮されていることについても、説明に含めてください。*

**６．研究開発プロジェクトの波及効果**

　提案する研究開発プロジェクトが「PM採択時点から3年目のマイルストーン」、「PM採択時点から5年目のマイルストーン」、及び、「PM採択時点から10年目のマイルストーン」を達成した時に、それぞれどのような成果が創出されるか、また、それぞれの成果が、学術、産業、あるいは社会にどのような波及効果（インパクト）をもたらすか、ご説明ください。

***※ 様式5は、2ページ以内でご説明ください。***

**【様式5】研究開発プロジェクトの推進計画及び予算計画**

**１. 研究開発プロジェクトの推進計画**

　　【様式4】に記述した「研究開発プロジェクト」の、具体的な推進計画を記述してください。なお、提案書に記載したことを以て、計画や研究開発費、当該パフォーマーの参加等を確約するものではありません。これらは、研究開発プロジェクトの作り込みを経て確定されます。（公募要領4.2及び4.3をご参照ください。）

*研究開発プロジェクトの推進計画を以下に記述してください。主要な分担項目ごとに、分担内容の概略、パフォーマー候補、実施期間及び、分担項目の研究開発費（PM採択時点から5年目まで。間接経費を含む）を記述してください。*

*（記入例）*

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| *分担項目* | *2020*  *年度* | *2021*  *年度* | *2022*  *年度* | *2023*  *年度* | *2024*  *年度* | *2025*  *年度* | *2026*  *年度* | *2027*  *年度* | *2028*  *年度* | *2029年度* |
| *【研究開発プロジェクト名】* | | | | |  | | | | |  |
| *１．○○の研究開発*  *（分担内容：*  *パフォーマー候補：*  *●●●●）* |  |  |  |  |  |  | *5年目までの*  *研究開発費：●億円* |  |  |  |
| *２．△△の機構開発*  *（分担内容：*  *パフォーマー候補：*  *未定）* |  |  |  |  |  |  |  | *5年目までの*  *研究開発費：●億円* |  |  |
| *３．○○と△△との統合・システム化／社会実装試験*  *（分担内容：*  *パフォーマー候補：*  *●●▲▲）* |  |  |  |  |  |  |  | *５年目までの*  *研究開発費：●億円* |  |  |

**２.　 研究開発費の年次計画**

研究開発費の概算をご記入ください。（単位：億円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025～2029（合計 ※） |
| 研究開発費（間接経費を含む） | *X.X* | *X.X* | *X.X* | *X.X* | *X.X* | *X.X* |

※ 研究開発プロジェクトの実施期間は、PM採択時点から、原則として、5年間とします。なお、3年目の評価結果によって研究開発プロジェクトの変更（加速、減速）、終了となる場合もあります。

また、評価の実施時期は、PMの採択時点から3年目の評価以外に、原則として、5年目及びPDが必要と認めた場合も実施します。いずれの場合も、評価結果によって研究開発プロジェクトの変更（加速、減速）、終了等となる場合があります。また、５年を越えて継続することが決定した場合には、最大10年間とします。

※ 間接経費の比率は、「4.6.2間接経費について」をご参照ください。

**３．購入予定の主要設備（1件2千万円以上、機器名、概算価格）**

2023年度末までに1件**2千万円**以上の設備の購入を予定している場合、機器名と概算価格、購入希望年度をリストアップしてください。

*(記入例)*

*機器名：○○○○○○　　　　 概算価格：XX千万円 （購入希望年度：　 ）*

*機器名：△△△△△△ 概算価格：X.X 千万円（購入希望年度：　 ）*

* *採択決定後、PMによる研究開発プロジェクトの作りこみの過程で、当該設備の購入・運用・共用計画もブラッシュアップ頂きます。また、本事業で実施する各研究開発プロジェクトのより効果的・効率的な実施の観点から外部の有識者であるアドバイザー等の協力を得たPDの指揮の下で、購入設備の調整を行うことがあります。*

*※様式6は、2ページ以内でご説明ください。*

**【様式6】提案者のマネジメント能力**

*本様式の記入にあたっては、公募要項「3.7 選考の観点」の「①PMとしての資質」もご参照ください。*

**1. 提案者のマネジメントに関する経験・実績**

*研究開発や事業化等に関するマネジメントの経験・実績について、箇条書きで分かりやすく、記述してください。経験・実績がない場合は「無し」と記述してください。*

*○ 他の研究資金制度等において、****研究代表者****を務めた場合は、主要なものについて、研究課題名、研究経費と事後評価等を、下表を例として記述してください*

*（記入例）複数の事例を記述する場合は、以下の表をコピーして使用しても構いません。*

|  |  |
| --- | --- |
| *資金制度名* | *○○省○○研究拠点形成制度* |
| *期間（年度）* | *年度～ 年度* |
| *研究課題名* | *△△を用いた□□観測が拓く新しい○○科学* |
| *研究経費（直接経費）* | *○○○千円* |
| *事後評価結果* | *Ｓ）優れた成果を挙げ、○○利用の促進に著しく貢献した。* |

*○ 事業化に関する実績がある場合には、事業化における提案者の役割・貢献内容を記述してください。なお、事業の概要（事業内容、受注・売り上げ実績等）を含めて記述してください。*

**２．本事業が求めるプロジェクトマネージャー（PM）として、自らが適任であると考える理由**

2050年にMS目標達成という、長期的で挑戦的なテーマをマネジメントするに当たり、自らが適任であると考える理由を、提案者のマネジメント能力のコアとなるスキルを含めてご説明ください。

*（コアとなるスキルには、例えば、リーダーシップ、目利き力、課題解決力、意思決定力、対人影響/コミュニケーション力、等が考えられます。）*

**３．研究開発プロジェクトのマネジメント実施に向けた提案者の考え**

提案者自身のこれまでのマネジメントの経験に照らして、提案する研究開発プロジェクトをマネジメント（データマネジメント、産学連携・橋渡し、国際連携、国民との科学・技術対話など）するために、どのような点を強化すべきと考えるか、その内容と強化するための実施案をご説明ください。

*箇条書きで分かりやすくご説明ください。*

*（表の行は必要に応じ追加してください。）*

|  |  |
| --- | --- |
| 強化すべき内容 | 実施案 |
| 研究成果の事業化戦略構想力 | *○○を△△して□□する。* |
| *○○*研究分野の専門知識 | *○○を△△して□□する。* |
| 研究データのマネジメント活動 | *○○を△△して□□する。* |
| 産学連携・橋渡し等の活動 | *○○を△△して□□する。* |
| 国際連携に関わる活動 | *○○を△△して□□する。* |
| 国民との科学・技術対話の活動 | *○○を△△して□□する。* |
| *上記に当てはまらないものがある場合は、その内容を記入してください。* | *○○を△△して□□する。* |

*なお、研究開発プロジェクトを実施する上で、強化すべき内容が無いと考える場合は、「無し」とご記入ください。*

**４．広範な分野の人々との情報交換や協働に関する実績**

研究者はもとより、国内外の関係者全てとの十分なコミュニケーションをとる能力を有していること、また、産学官の専門家とのネットワークと情報収集力を有していることがわかるよう、具体的な事例を含めてご説明ください*。*

*広範な分野の人々との情報交換や協働に関する、提案者の実績をご記入ください。*

***※ 様式7は、2ページ以内でご説明ください****。*

**【様式7】作り込みに関するPMの実施内容**

*PMとして採択された場合、外部有識者であるアドバイザー等の協力を得たPDの指揮の下、PMは研究開発プロジェクトの作り込みを行います。*

*（作り込みについては、公募要領4.2「PMによる研究開発プロジェクトの作り込み」及び4.3* *「PMによる研究開発プロジェクトの実施」をご参照ください。）*

*以下の項目について、現段階で考える、PMの実施する内容について、ご説明ください。*

**１．作り込みにおける、研究開発プロジェクトの推進計画の具体化**

研究開発プロジェクト（【様式4】及び【様式5】）を推進していく上で、現段階では確定できていない内容や不足している内容を、どのような方法で確定・準備して行くか、その内容と提案者の実施案をご説明ください。

*記入例（表の行は必要に応じ増減してください）*

|  |  |
| --- | --- |
| *確定や準備が必要な内容* | *実施案* |
| *○○の研究を行えるパフォーマー候補選定* | *ワークショップを開催し、有望な若手研究者を発掘する。* |
| *△△の課題に対する最適なアプローチ方法の模索* | *△△の課題解決においてキーとなる□□研究に関する国内外の技術動向調査を行い、アプローチ方法を絞り込む。* |
| *◇◇の自動走行技術開発における公道使用での実証実験場所が未確定* | *ｘｘ県と□□県の◇◇特区制度を活用することを想定し、自治体担当部門と協議して実証試験計画を策定する。* |

**２．作り込みにおける、代表機関によるPM活動支援体制の構築に向けた提案者の考え**

【様式6】の3.（「研究開発プロジェクトのマネジメント実施に向けた提案者の考え」）で挙げた実施案を確実に遂行し、効果的・効率的なPM活動を推進するために、代表機関にどのような支援体制を構築していくか、必要となる内容と提案者の実施案をご説明ください。

*現段階では、確定できていない内容や、不足している内容を、作り込み時に、どのような方法で確定・整備して行くか、その内容と提案者の実施案をご説明ください。*

*記入例（表の行は必要に応じ増減してください）*

|  |  |
| --- | --- |
| *確定や整備が必要な内容* | *実施案* |
| *各研究開発機関への予算の執行管理体制* | *○○を△△して□□する。* |
| *PMの技術補佐担当者の採択* | *○○を△△して□□する。* |
| *○○分野に精通したアウトトリーチのプロフェッショナルの体制へのアサイン* | *○○を△△して□□する。* |
| *知的財産の権利化や標準開発の支援体制* | *○○を△△して□□する。* |

*なお、PM活動支援体制について、既に最適な体制が整備されていると考える場合は、PMの支援体制を示し、その支援体制がPM活動支援に十分と考える理由をご説明ください。*

1. PDとの利益相反に関する情報

**【様式8】利益相反に関する情報**

提案者と、選択したMS目標を担当するPDとの利害関係の有無をご選択ください。

「ある」の場合は、その内容を具体的に記載してください。公正で透明な評価を行う観点から、提案者と利害関係を有するPDは選考に加わりません。

提案者と選択したMS目標を担当するPDとの利害関係が　ある　ない　*※ どちらかを選択*

「ある」の場合、具体的内容：

*ここで対象とする利害関係者の定義は以下の通りです。*

*1) PDと親族関係にある者*

*2) PDと大学、国立研究開発法人等の研究開発機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者*

*3) PDと緊密な共同研究開発を行う者、または過去 5 年以内に緊密な共同研究開発を行った者(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究開発メンバー、あるいはPDの他の研究開発課題の中での共同研究者等をいい、PDと実質的に同じ研究開発グループに属していると考えられる者）*

*4) 過去に通算１０年以上、PDと密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあった者*

*5) PDの研究開発活動と学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者*

*なお、提案者からJSTへの申告がない状態で、提案者とPDとの間に、利害関係の要件に該当することが確認された場合は、JSTにて相応の理由が認められない限り、プロジェクトの不採択や中止の措置を講じる場合があります。*

**２．パフォーマー候補との利益相反に関する情報**

提案者が、「パフォーマー候補情報シート」（様式別紙）に記入したパフォーマー候補者と、利害関係にある場合は、その内容を具体的に記載し、「パフォーマー候補情報シート」（様式別紙）の「提案者との利益相反」の欄に、以下の定義で該当する項目番号をご記入ください。

*ここで対象とする利害関係者の定義は以下の通りです。*

*1) PM自身がパフォーマー候補となる場合*

*2) パフォーマー候補と親族関係にある者*

*3) パフォーマー候補の兼業元又は出向元である大学、国立研究開発法人等の研究開発機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者*

*4) パフォーマー候補と緊密な共同研究開発を行う者(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究開発メンバー、あるいは研究開発課題の中での共同研究者などをいい、PMと実質的に同じ研究開発グループに属していると考えられる者)*

*5) パフォーマー候補と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者*

*なお、JSTへの申告がない状態で、利害関係の要件に該当することが確認された場合は、JSTにて相応の理由が認められない限り、プロジェクトの不採択や中止の措置を講じる場合があります。*

*なお、国内外のトップ研究者や若手・シニアなど多様な研究者の英知を結集するという本事業の趣旨に鑑み、提案者との利害関係を画一的な基準によって判断し、プロジェクトから予め一律に排除することはありません。提案者とパフォーマー候補との間で一定の利害関係があったとしても、プロジェクト参加への必要性、合理性、が認めれば、プロジェクトへの参加は必ずしも妨げません。*

*提案者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名ごとに、課題名、実施期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等をご記入ください。また、研究以外の業務の概要とエフォートもご記入ください。*

**【様式９】研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

なお、「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究やマネジメント活動の時間のみならず、営利事業や非営利事業に関する活動・教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該業務の実施に予定している時間の配分率（％）をご記載ください。また、提案者がPMのみならず、パフォーマーとしても研究開発プロジェクトに参画することを想定している場合には、そのエフォートも記入してください。

※ 公募要領「5.3不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

※ 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※ 現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究開発プロジェクト提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、公募要領の巻末に記載されたお問い合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※ 面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

（記入例）必要に応じて行を増減してください。

氏名：○○　○○

（１）応募中の研究費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期  間・配分機関等名） | 課題名  （代表者氏名） | 役割  (代表・分担等の別） | 2020 年度の経費※1  (期間全体の額) | ｴﾌｫｰﾄ  (％) | 他の研究費に加えて本事業に応募する理由  ※2 |
| 【本事業】  ムーンショット型研究開発事業 |  | 代表  （PM） |  |  |  |
| *ムーンショット型研究開発事業* | *パフォーマーとして参画を予定する研究開発プロジェクト名（当該プロジェクトのPM候補者氏名）*  *※提案者がパフォーマーとしても研究開発プロジェクトへ参画することを想定する場合は本欄にも記入すること。* | *分担*  *（パフォーマー）* |  | ※３ |  |
| *科学研究費*  *補助金*  *基盤研究(S)*  *（2020年4月～*  *2024年3月*） | *××による◇◇の創成*  *(○○○○)* | *分担* | 100,000千円  （総額 *XX.X*億円） | 5 | *○○のため* |

（２）受け入れ予定の研究費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期  間・配分機関等名） | 課題名  （代表者氏名） | 役割  (代表・分担等の別） | 2020 年度の経費※1  (期間全体の額) | ｴﾌｫｰﾄ  (％) | 他の研究費に加えて本事業に応募する理由  ※2 |
| *JST戦略的創造 研究推進事業 CREST*  *2019年10月～2024年3月）* | *××による◇◇の高機能化*  *(○○○○)* | *分担* | 140,000  （総額 *XX.X*億円） | 5 | *△△のため* |

（３）その他の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 役職 | 活動内容 | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| *株式会社○○* | *取締役 (非常勤)* | 事業企画、経営企画の審議 | 3 |
| *△△株式会社* | *顧問* | 研究開発の指導 | 2 |

※1 直接経費をご記入ください。※2 本事業以外への応募がない場合には記入不要です。

※3 提案者がPMのみならず、パフォーマーとしても研究開発プロジェクトに参画することを想定している場合には、パフォーマーとしてのエフォートを本欄に記入してください。

**【様式10】人権の保護および法令等の遵守への対応**

　公募要領「第 5 章 応募に際しての注意事項」を確認するとともに、提案するプロジェクトについて、遵守すべき法令・ガイドライン等を理解の上、策定したことを確認し、□にチェックを入れてください。

|  |
| --- |
| （遵守すべき法令・ガイドライン等の例）  「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日文部科学大臣決定。その後の改正を含む）  「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）平成19年2月15日施行/平成26年2月18日改正文部科学大臣決定。その後の改正を含む。）」  安全保障貿易管理（海外への技術漏洩への対処）について、最先端研究の成果等が大量破壊兵器の開発者やテロリスト集団など、軍事転用等の懸念活動を行うおそれのある者に渡らないよう、外国為替及び外国貿易法（外為法）をはじめ、各府省が定める法令・省令・通達等  海外における実地の活動（生物資源の持ち出しも含む）や海外研究機関との共同での活動を行う際には、関連する国の法律等  ライフサイエンスに関する研究や活動については、生命倫理および安全の確保に関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等 |

　　提案に際し、遵守すべき法令・ガイドライン等を*確認した場合は、以下の□にチェックを入れてください。*

**遵守すべき法令・ガイドライン等につき、確認しました。**

*2050年にMS目標達成といった、長期的で挑戦的なテーマをマネジメントするに当たり、提案者がプロジェクトマネージャー（PM）として、適任であると考える理由を記した、以下の推薦状について、可能であればご提出ください（提出は必須ではありません。また、提出する場合にも以下「No.1」「No.2」両方の提出を必須とするものではありません）。審査過程において、推薦者に対してヒアリング・電話・メール等による調査を行う可能性があります。*

**【様式11】「推薦状」**

*提出する場合には、以下の様式に必要事項をご記入ください。なお、海外機関所属の複数の人物に推薦状を記入いただく場合は、様式No.2をコピーしてお使いください。*

*各推薦状とも****A４サイズ１枚以内****とします。*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| *No.* | *推薦状の執筆者* | *記述内容に関する要求事項* | *言語* |
| *１* | *代表機関となる見込みの機関(提案者の所属機関、もしくは所属予定機関）の「長」* | *ムーンショットプロジェクトのPMとして推薦する理由* | *日本語もしくは英語* |
| *２* | *海外機関に所属する適切な人物* | *応募者のプロジェクト推進に関する「リーダーシップとコミュニケーション能力」の評価に関する記述を含む* | *英語* |

推薦状（日本語）

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）  被推薦者氏名 |  |
| 所属及び役職 |  |
| 推薦理由 | |
| （１）被推薦者をムーンショットプロジェクトのPMとして推薦する理由を説明してください。  （２）その他特記事項 | |
| 代表機関となる見込みの機関(提案者の所属機関、もしくは所属予定機関）の「長」 | |
| （フリガナ）  推薦者氏名 |  |
| 所属及び役職 |  |
| 推薦者の連絡先 | （TEL)  （FAX)  （e-mail)  （担当者） *※連絡先が推薦者本人以外の場合は記入* |

Recommendation（English）

|  |  |
| --- | --- |
| Recommendation for Mr./Ms. |  |
| Title: |  |
| (1) Reasons to be recommended as Project Manager for Moonshot Project  \* Please include the "leadership and communication skills" rating  (2) Other remarks, if necessary. | |
| Your Name |  |
| Title |  |
| Contact  Information | (TEL)  (FAX)  (e-mail)  (Person in charge) *If the contact person is not the recommender, fill in.* |

*提案する研究開発プロジェクトの実施に必要不可欠と提案者が考える主要なパフォーマー候補について、パフォーマー候補毎に本シートをコピーしてご記入ください。（※提案者がパフォーマーも兼務する場合にも、パフォーマーとして本シートの提出が必要です。）*

**様式別紙**

*ただし、提案書に記載されたことを以て当該パフォーマーの参加を確約するものではありません。*

「パフォーマー候補情報シート」（１名あたり１ぺージ以内）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 担当する分担内容 | | *○○の研究開発* |
| 氏名 | |  |
| 所属機関名及び役職 | |  |
| パフォーマー候補の評価と研究開発実績 | | |
| 1)当該パフォーマーが、当該実施項目を担当する上で、最適と考える理由*を簡明にご記入ください*  2)上記を裏付ける、パフォーマー候補の担当実施分野における特に重要な実績を５件、ご記載ください。  *（関連する査読論文、著書、表彰、特許、招待講演、国際機関での発表等で重要な実績があれば、リストアップしてください。著者・発表者等が複数の場合には、パフォーマー名に下線を引いてください。）* | | |
| 役割と参加時期 | | |
| *【様式4】の5.「提案する研究開発プロジェクトの内容」の中での位置づけが明確になるようご説明ください。* | | |
| プロジェクトの参加に関する候補者の  合意状況 | 合意済　調整中　未調整*（いずれか一つをご選択ください）* | |
| プロジェクトへのエフォート | （全仕事時間に占める、プロジェクトの研究開発活動時間の割合）　　　％ | |
| 提案者との利益相反(\*) | 無し　　　有り（該当する利害関係の項目：*1）,2）,3）,等*  *（いずれかを選択し、「有り」の場合は、【様式8】の2．から該当する項目番号をご記入ください。）* | |

注＊：「利益相反」については、「【様式8】　利益相反に関する情報」をご参照ください。